

# 在宅きたかみ

在宅医療介護連携支援だより

発刊：第22号  
発行：令和5年  
1月

🎊 令和5年 新年のご挨拶 北上市在宅医療介護連携支援センター長 柴内一夫 🎊

年頭にあたり、本年が皆様にとても良い年になりますよう心よりお祈り申し上げます。

昨年の「在宅きたかみ」を振り返りますと、大きなイベントとして「済生会生活困窮者問題シンポジウム」の開催が挙げられます。基調講演やシンポジウムなど、地域に根差した、地域共生社会を基盤とした全国への発信となり、成功裡に終えることができました。ご協力いただきました皆様方には、この場をお借りして感謝申し上げます。

また新たに、「認定看護師等による出前研修」を開催いたしました。これは、岩手県看護協会北上支部からのご支援によりまして、入所系の介護施設に講師である認定看護師が出向き、テーマに沿って講義と実践研修を行うものです。アンケート結果を見ましても実りある研修であることが伺えます。随時申し込みを受け付けておりますのでご活用ください。「在宅きたかみ」のホームページにあります研修・イベント案内をご参照いただければ幸いです。

医療と介護の連携拠点である「在宅きたかみ」は、社会福祉法人の北上済生会病院内にあります。社会というのは、ソサイエティの訳語であり、明治の日本では何と訳すか頭を悩ませたそうです。かの、福沢諭吉は人間交際という訳語をあてています。ちなみに、済生会は明治天皇の窮民の施薬施療をという下賜(かし)により創設され、当院は昭和3年に五代目伊藤治郎助氏により建てられた黒沢尻病院に由来しています。

話を戻しまして、社会とは、人生の意味を創出するメカニズム(フランスの社会学者ブルデュー)、多様性の中の繋がり(アメリカの社会心理学者ミード)などと説明されます。そして、社会福祉法人には、既存の制度の対象とならないサービスに対応していくことを本旨とする(社会福祉法第24条)ことが求められています。

コロナ禍により、これまで見えていなかったような課題まで大きな岩のようにさらけ出されました。残念ながら、ひとりにできることは、アリがひとつの砂粒を運ぶようなことでしかありません。しかし、ひとりひとりが結びつき、よりよい地域の社会となれば、大きな岩を打ち砕くことさえ可能となります。

このような社会、人間交際の結びつきをかなえるため、特に医療と介護における困りごとへの相談対応の場として、「在宅きたかみ」は地道にその責務を果たしていきたいと考えております。

それでは、本年も変わらぬご指導、ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます



## ★第2回「医療・介護人材育成のためのテーマ型研修会」を開催しました★

と き：令和4年9月28日(水)午後6時30分から8時まで

ところ：北上済生会病院・大会議室からオンラインでの研修

受講者：73名(医療、介護、福祉、行政関係者)

今年度3回シリーズで実施する「テーマ型研修会」の第2回が、北上済生会病院の菊池孝幸整形外科長兼副院長を講師に迎え、「整形外科疾患」の特徴について、介護が必要になる可能性のある疾患を中心に病院内とオンライン研修で学びました。今回も、医療や介護の現場に従事する看護師、療法士、介護福祉士など、たくさんの受講申し込みがありました。

要介護・要支援状態となる原因のうち、**24.6%**は運動器疾患・障害によるもので、その内訳は、転倒・骨折が12.1%、関節疾患が10.2%などとなっており、治療方法やその後のリハビリ、日常生活での注意点などについて、多職種でもわかりやすい資料で解説していただきました。講義終了後には、北上市長寿介護課の保健師より、新たにスタートした「フレイル予防事業」について紹介があり、医療と介護の連携はますます重要になっていると実感しました。



## ★「医療従事者向け権利擁護研修会」を開催しました★

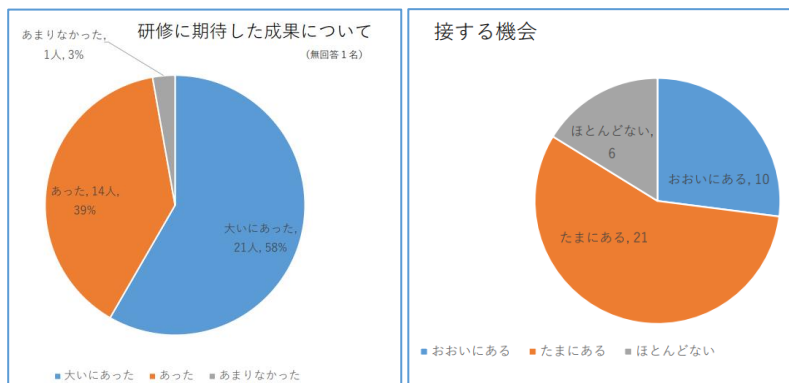
と き:令和4年10月20日(水)午後5時から6時30分まで  
 ところ:県立中部病院講堂、北上済生会病院(オンライン)  
 花北病院(オンライン)

受講者:三病院合計54名(医師、看護師、ソーシャルワーカー、事務職)

市内の三病院に勤務する医療従事者を対象とした権利擁護研修会を初めて開催しました。少子高齢化が進む中、身寄りのない高齢者や認知症等で自らの意志決定が困難な患者が増加傾向にあります。このような方々の権利を尊重し、不利益にな

らない意思決定支援のあり方について考える機会として、市の権利擁護支援センターと在宅きたかみが企画したものです。講師には、盛岡市の「イーハトーブ地域包括支援センター」管理者の鈴木智之氏をお迎えし、「制度の狭間や限界を踏まえた意思決定支援と権利擁護」と題してご講演いただきました。

受講後のアンケートでは、下記グラフのとおり、約6割の方が大いに成果を感じたとし、また、ほとんどの職種で権利擁護が必要な機会を経験していることがわかりました。そのほか、様々な意見や要望があったことから、来年度以降についても「権利擁護に係る研修会」を開催していきたいと思いをします。



## ★第10回「済生会生活困窮者問題シンポジウム」が当市で開催されました★

と き:令和4年11月12日(土)午後1時から4時30分まで

ところ:日本現代詩歌文学館講堂(YouTube配信あり)

参加者:138名(会場66名、オンライン72名)

社会福祉法人恩賜財団済生会が全国持回りで開催する「済生会生活困窮者問題シンポジウム」が、「いわて発・生活困窮者問題を考える」をテーマに、北上市で行われました。当日は炭谷茂理事長をはじめ、全国の済生会関係者が訪れたほか、市内の医療・介護・福祉・行政関係者が、会場やYouTube配信で参加しました。

基調講演では、伊藤彬岩手県済生会支部長から、「地域が元気であるために」と題して、北上済生会病院が北上市のまちづくりに果たしてきた役割とこれからの展望についての貴重なお話をいただきました。



「きたかみ型地域包括ケアビジョンと地域共生社会」をテーマとして、市内で活躍する4人のシンポジストをお迎えして行ったシンポジウムでは、コーディネーターを在宅きたかみセンター長の柴内一夫副院長が務め、生活困窮者問題とソーシャルインクルージョンの推進について、会場やオンライン参加者とともに考えました。市内の医療・介護・福祉関係者にとって、生活困窮者問題を考える貴重な機会となったのではないのでしょうか。シンポジストの皆さん、たいへんありがとうございました。

- ・北上市社会福祉協議会 菊地里枝 さん
- ・NPO法人わらすば 大内玲子 さん
- ・地域包括支援センターわっこ 老林聖幸 さん
- ・北上済生会病院 菊池涼子 さん



# ★「ケアラボ@きたかみ」が《シン・ケアラボ》になって新たにスタートしました★

と き: 令和4年12月7日(水)午後6時30分から8時30分まで

と ころ: 北上市保健・子育て支援複合施設 hoKko 1階ふれあいホール

参加者: 53名(医療・介護・障害福祉・子育て・行政の多職種/スタッフ含む)

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、令和2年2月に第15回目を開催して以降、オンライン又はクローズでの少人数参加として第22回まで続けてきました。今回から「在宅きたかみ」が主催し、北上市長寿介護課やこれまでのコアメンバーの協力を得て、2年10か月ぶりにオープンでの開催にこぎつけました。

コロナ禍の終息が見えない中、65名の申し込みがあり、医療や介護、福祉、子育てなど多職種の皆さんの関心の高さが伝わりました。

今年度のテーマを「みんなで描こう“重層的支援体制”のカタチ」とし、4、5人のグループワークにより対話を行い、それぞれ発表していただきました。

MC/地域包括支援センターわっこ/老林 聖幸 氏

コーディネーター/ホームケアクリニックえん/櫻井 茂 氏

アシスタント/

北上市在宅医療介護連携支援センター/佐藤晃、菊池涼子、石川晴基

北上市長寿介護課/住吉香奈子保健師



日 時 : 令和4年12月7日(水) 18:30~20:30

場 所 : 北上市保健・子育て支援複合施設hoKko

開催形式 : 感染対策を十分に講じて、集合型で実施します。

- 内容
  - ・グループワーク中心
  - ・質疑、情報交換 など
  - アドバイザー等
    - ・ホームケアクリニックえん 櫻井 茂 氏
    - ・地域包括支援センターわっこ 老林 聖幸 氏
  - ※第1回目は、旧ケアラボの運営メンバーにお手伝いいただきながら実施します。
- 参加対象者
  - ・医療・介護・福祉・行政に従事する専門職等
  - ・上記分野に関わる民間企業、NPO法人、各種団体等の職員
- 参加方法
  - ・要項の申込み用紙に記入しFAXで送付願います。

＜シン・ケアラボの目的＞  
平成29年度にスタートした「ケアラボ@きたかみ」は、5年間、計22回開催し、具体的な事例によるグループワークを取り入れながら、医療・介護・福祉・行政に従事する専門職等の職種の見える関係づくりを進め、様々な課題を語りだして、そして共有することができた。  
令和4年度から、その共有した課題をベースに新たなテーマを設定し、これまでどおり、立場の異なる職種・個人が同じ目標を共有しつつ、互いの強みを出し合い、地域課題の解決に向けたネットワークの構築を目指すものである。

※ 第1回終了後、新しい運営委員会のメンバーを大募集します！

## 職種別参加申込者

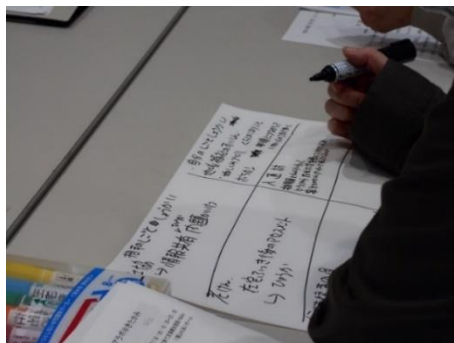
職種(分野)等		申込数	当日参加者
医師		1	0
看護師・助産師		6	5
薬剤師		5	4
医療ソーシャルワーカー		1	1
介護支援専門員		11	5
介護施設職員・相談員		9	6
地域 包括 支援	保健師	3	2
	社会福祉士	3	3
	介護支援専門員	6	3
	生活支援コーディネーター	2	2
理学療法士		3	3
作業療法士		2	2
障がい福祉施設職員(管理者、相談員、就労支援員など)		7	5
福祉用具販売等職員		2	2
コミュニティ・ソーシャルワーカー(社協)		1	1
行政 職	保健師(市長寿介護課)	1	1
	社会福祉士(子育て世代包括支援センター)	1	0
	事務職(市長寿介護課)	1	1
合計		65	46



- 対話① ~相手の仕事を紹介してみる...
- 対話② ~自分の仕事を紹介してみる...
- 対話③ ~自分の職種で数年前と変化している点は?



老林MCの進行で、A~Kの11グループに分かれ、対話①~③について話し合いました。これまでは事例検討を中心にして顔の見える関係づくりを進めていましたが、対話①~③のお題は想像以上に盛り上がりを見せて、他の職種の様々なことが分かったとのコメントがたくさん寄せられました。また、新規参加者やこれまで参加実績のなかった職種、職場もあったことから、顔の見える関係づくりにも新たな展開があり、これからも続けていく意義があるとスタッフ一同感じたところです。「在宅きたかみホームページ」にアンケート結果など参考資料を掲載しておりますので、ぜひご覧いただければと思います。



# ★認定看護師さんによる介護事業所向け出前研修★



“たより第21号”でお知らせしておりました「認定看護師等による出前研修」につきましては、おかげさまでたくさんの御注文をいただき、本当にありがとうございました。また、開催にあたり岩手県看護協会北上支部の御協力に感謝いたします。簡単ですが令和4年12月までに開催した様子をご紹介します。(ホームページにも掲載中)

## 【開催・申込状況】

開催日	事業所種別	研修分野
11/16	有料老人ホーム	摂食・嚥下障害看護
11/30	認知症グループホーム	皮膚・排泄ケア
12/8	有料老人ホーム	摂食・嚥下障害看護
12/14	サービス付き高齢者住宅	摂食・嚥下障害看護
調整中	特別養護老人ホーム	感染管理
調整中	認知症グループホーム	感染管理
調整中	特別養護老人ホーム	認知症看護



### ☞摂食・嚥下障害看護

講師:川村美幸氏(摂食嚥下障害認定看護師)

炭酸トロミ剤の活用について学ぶ施設職員と講師の川村氏。その他、嚥下体操や食事介助時のポイントについて研修しました。

### ☞皮膚・排泄ケア

講師:石亀桂子氏(皮膚排泄ケア認定看護師)

皮膚の保湿管理について学ぶ施設職員と講師の石亀氏。入浴介助やオムツ使用時の留意点などについて研修しました。



### ☞摂食・嚥下障害看護

講師:川村美幸氏(同上)

様々な器具の使用方法等について学ぶ施設職員。口腔ケア全般の留意点や窒息時の緊急的な対処方法も研修しました。



## ◆◆Topics 9月~12月◆◆

- 9月 7日(水) 「フレイル対策に係る北上医師会との意見交換会」に出席しました
- 9月 20日(火) 「ご近所お助けサポーター養成講座」を見学してきました
- 9月 22日(木) 第6回自立支援型地域ケア会議「くらしいきいきミーティング」に出席しました
- 10月 13日(水) 令和4年度第2回「入退院支援作業部会」を開催しました
- 11月 18日(金) 「北上市高齢者虐待防止研修会」に出席しました
- 12月 10日(土) 「北上医師会在宅医療市民公開講座」で当センターの役割について説明しました
- 12月 20日(火) 「自筆証書遺言書保管制度の出前勉強会」に出席しました
- 12月 23日(金) 「青森県三戸町在宅医療・介護連携推進事業研修会」で北上市の取組を説明しました

### 研修等の告知

第3回「医療・介護人材育成のためのテーマ型研修会」⇒⇒(2月上旬に案内します)  
開催:令和5年3月初旬(未定) | 8:30~20:00  
場所:オンラインによる研修です



第24回「シン・ケアラボ@きたかみ」⇒⇒(2月上旬に案内します)  
開催:令和5年3月14日(火) | 8:30~20:30  
場所:さくらホール(小ホール)



### 編集後記

ここ数年に比べると年末年始は雪が少なく、除雪のないお正月はまさに寝正月となりました。2023 新たな年が始まりましたが、大きな災害が起きない穏やかな1年でありますようお願いいたします。皆さんにとっても、よいお年でありますようお願いいたします。(H)

### 発行/北上市在宅医療介護連携支援センター

〒024-8506 北上市九年橋3丁目 15 番 33 号  
北上済生会病院1階  
TEL:0197-65-6121 FAX:0197-65-6122  
HP:<http://www.zaitaku-kitakami.com/>

